

「はあはあ……! すごお……!」

(あの夏姫に性処理させちゃってる……!)

「太一……」

(太一が俺の手一つでこんなに反応して……)

(この亀の裏側とか擦ったらどうなるんだろう……?)

♡……ひびく♡

「はうう……! そこも好き……!」

「……!」

(手で扱く度に子犬みたいに震えてる……)

(あの太一が俺の手でいいようにされちゃってる……!)



「ちゅぱ…♡、じゅるるる…♡、くぽくぽ…♡」

「ああ…！、いきなりそんな啜えて…！」

夏姫は躊躇なく俺のものを啜え美味しそうに吸い始めた

「れる…♡、くっぽくっぽ…♡」

（凄いむせかえる様な匂い…！）

でもすごい興奮する…♡

（これ全部太一の匂いだからかな…）

ちゅぱちゅぱ…♡

「はあ…！そんな、凄…♡」

（あの夏姫が自分からチンポ啜えてくれてる…！しかも体育直後のを即尺で…！）



「夏姫！、お前が欲しい！
俺の子供を産んでくれ……！」

「い、い、い、ごどもお……？」
（俺と太一の赤ちゃん……！？）
俺が、生むの……？）

俺の言葉で見る見る赤面していく夏姫

「お前の事一生大事にするから！」

「……………」



「じゃーん……
どうかな……？」

「……」

（競泳水着はどうしてこんなにエロいんだろ……
お股のラインもエロいし、質感も堪らん……）

「太……？」

「……」

俺は思わず見惚れてしまう



「れろれろれろ…♡
子種出してえ…♡、じゃないと大学行っちゃやだ…♡
金玉空っぽじゃないと駄目なのお…♡」

夏姫がぐずる様に射精をねだる

「ふうう…♡、お、俺は絶対浮気なんてしないってば…♡」

れろれろ…♡

「だって太一格好良いから不安なんだもん…♡
絶対ヤリサーとかいうのに入っちゃ駄目だからね…！」

